

資料編

現地調査施設の概要

施設について

- 名称 岐阜県立国際情報科学芸術アカデミー マルチメディア工房
- 所在地 岐阜県大垣市領家町3-95
- 発注者 岐阜県
- 設計者 (株) 妹島和世建築設計事務所
- 監理者 岐阜県、(株) 妹島和世建築設計事務所
- 施工者 主体工事 (株) 土屋組
電機・空調 (株) 東和電気工事
- 設計期間 1994年12月～1996年2月
- 施工期間 1996年3月～11月
- 総工費 約4億円
- 敷地面積 校舎敷地として、22,347m²
- 建築面積 856m²
- 延べ面積 872m²
- 構造・階数 R C工法、2階建て
- 仕上げ (内装・屋根・外壁・外構など)
屋根／アスファルト防水の上にゴムチップ、強化合わせガラス
外壁／フロートガラス、強化ガラス、スチールエキスパンドメ
ンタル溶隔亜鉛メッキの上塗装
- 都市計画用途指定・制限 第一種中高層住宅専用地域
- 施設の維持・管理 (省エネルギーへの配慮なども含めて)
水中ポンプ (地下水が豊富で湧水が多い地域に半地下構造の建
物を建設したため、湧水を汲み上げる必要がある)

その他

- 基本構想・基本計画の内容
岐阜県立国際情報科学芸術アカデミーは、県が進める「高度情報
基地ぎふ」づくの中核拠点である「ソフトピアジャパン」や「V
Rテクノジャパン」等で活躍しうる人材育成の観点から、映像情
報・通信新時代のマルチメディア・ソフトの担い手であり、21世
紀の産業・文化の向上に寄与できるメディア・マスターを育成す
る高度な教育機関として設立された。マルチメディア工房は、国
内外から招聘する客員芸術家が、実際に制作活動や作品展示を行
う場として建設された。学生は、教員とともに制作過程に参加
(コラボレーション) し交流する。また、世界的なメディアアー
トの拠点と文化の創造をめざし、情報発信機能も併せ持つ。
- 運営主体 岐阜県

マルチメディア工房

海の博物館

施設について

- 名称 海の博物館
- 所在地 三重県鳥羽市浦村町大吉1731-68
- 発注者 財団法人東海水産科学協会
- 設計者 内藤廣建築設計事務所 内藤廣
- 監理者 内藤廣建築設計事務所
- 施工者 (主体工事・電機設備・空調衛生・吊物・音響・照明・展示など)
 - 建築/鹿島建設名古屋支店 (収蔵庫)
 - 建築/大西種蔵建設 (収蔵庫・展示棟) 外構/石吉組
 - 集成材/セブン工業 木工事/小崎建築、中西建築
 - 扉装飾/松田研一 展示計画/サザンクロス
 - 喫茶家具/須賀忍 瓦/小島屋
 - メインエントランス庇/森本鉄工 木製建具/建勘商店
 - 家具/中西家具製作所 展示用照明/山田照明
 - 空調/藤工業 衛生/辻村水道
 - 電気/吉福電気
- 設計期間 1985年11月～1988年2月(収蔵庫)
1988年10月～1991年2月8月(展示棟)
- 施工期間 1988年3月～1989年6月(収蔵庫)
1991年3月～1992年6月(展示棟)
- 総工費 約7億円
- 敷地面積 18,058m²
- 建築面積 3,660m²
- 延べ面積 3,924m² (展示棟:1,898m²、収蔵庫:2,026m²)
- 仕上げ (内装・屋根・外壁・外構など)
 - 外部仕上げ
 - 屋根/銀黒色系粘土掛棧瓦 (J I S 53A、新磨き) 引掛棧工法
ステンレススクリュー釘止め (共通)
 - 外壁/杉板厚32mm
 - 縦横二重貼りの上タール塗装 (アスファルト17kg併用) (展示棟)
 - PC版素地の上合成樹脂エマルジョン砂状吹付け (収蔵庫)
 - 開口部/木製扉:鉛シートの上樹脂系特殊塗装ジャロジー焼付塗装、アルミ・スチールサッシュ:フッ素樹脂塗装
 - 外構/黒色砂利25φ 黒色割栗石150φ 積RC金ゴテ仕上げ芝
自然石積み

内部仕上げ

メインエントランス

床／RC金ゴテ仕上げ グレーチング 黒色砂利25φ

壁／黒色割栗石150φ積

天井／底：スチールプレート加工 亜鉛塗装

展示室

床／RC直押さえの上タイルカーペット

壁／杉板厚32mm 横張り

防火塗装（難燃仕様）RC打放し

天井／杉板厚15mm 防火塗装（難燃仕様）RC打放し

特別展示室

床／RC直押さえの上タイルカーペット

壁／RC打放し

天井／スチールワイヤメッシュ置敷フッ素樹脂塗装

映像室

床／RC直押さえの上タイルカーペット

壁・天井／RC打放し

●都市計画用途指定・制限

都市計画区域外地域・自然公園法普通地域

●施設の維持・管理（省エネルギーへの配慮なども含めて）

空調 空冷ヒートポンプエアコン

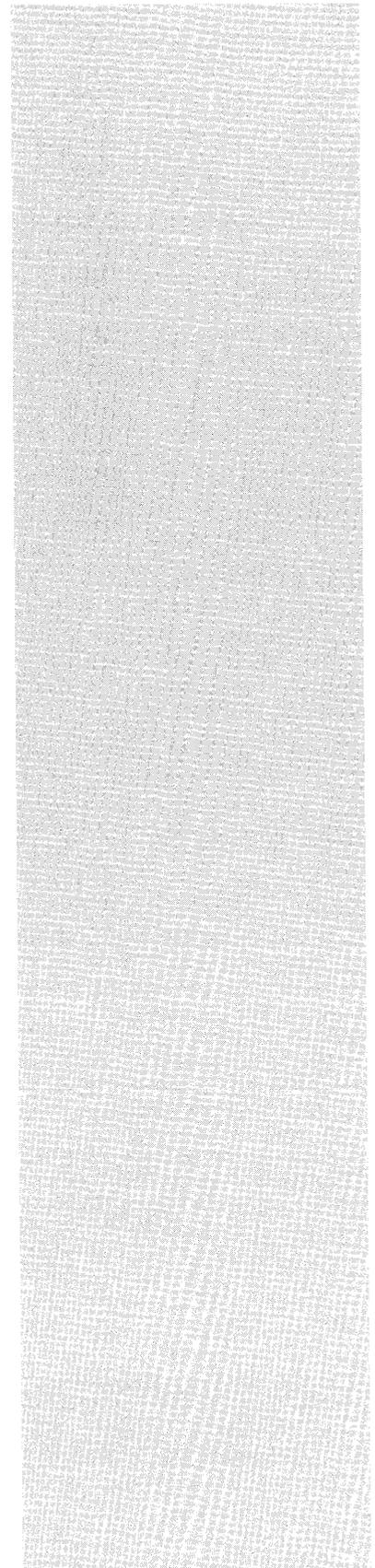
その他

●基本構想・基本計画の内容

博物館は常に新しい資料によって膨らみ再生しつづけるという考えに立って、建物を無柱とし、資料の移動・収納及び人の移動を容易にする空間とした。

●運営主体

財団法人東海水産科学協会



うしぶか海彩館

施設について

- 名称 うしぶか海彩館（起債名：牛深水産観光センター）
- 所在地 熊本県牛深市牛深町2286-116
- 発注者 牛深市長 西村武典
- 設計者 内藤廣建築設計事務所 内藤 廣
- 監理者 内藤廣建築設計事務所
- 施工者（主体工事・電機設備・空調衛生等：一括発注）
日本国土開発株式会社九州支店熊本営業所
- 設計期間 1993年9月～1994年9月
- 施工期間 本体工事：1994年12月～1997年1月
付帯工事：1994年12月～1997年2月
- 総工費 1,691,000千円
- 敷地面積 5,761,521m²
- 建築面積 2,663,843m²
- 延べ面積 4,650m²（あかね棟：2,173m²、ハイヤ棟：1,439m²、展示棟：1,038m²）
- 構造・階数 地上2階RC造、PC造、鉄骨集成材混成トラス
- 仕上げ 外壁／コンクリート打ち放し、浸透性撥水剤塗布仕上げ
杉板貼り、オイルステン＋クリア塗装仕上げ
屋根／着色スレート、波形成型板葺き、一部FRPトップライト
建具／木製サッシュ、アルミサッシュ
内部仕上げ／床 玉石洗い出し 縁甲板貼り
壁／コンクリート打ち放し 浸透性撥水剤塗布仕上げ、杉板貼り
オイルステン＋クリア塗装仕上げ
天井／コンクリート打ち放し、浸透性撥水剤塗布仕上げ、
杉板貼り、難燃塗装仕上げ
- 都市計画用途指定・制限 用途地域：無指定 防火地域：無指定
- 施設の維持・管理 株式会社うしぶか（第3セクター）

その他

●基本構想・基本計画の内容

- 牛深水産観光センター建設基本計画書（平成5年度）
- 牛深水産観光センター事業実施計画等調査策定報告書（平成6年度）
- 牛深フィッシャーマンズワーフ企業化調査業務報告書（平成7年度）

●建設資金の出所 過疎債、地域総合整備事業債、県単独補助金、一般財源

●建築家の選定方法

くまもとアートポリス処務要領に基づくコミッショナーの推薦

●運営主体 株式会社うしぶか（第3セクター）

●施設建設から運営までの住民参加について

- 平成3年 シンポジウム 3回（橋がテーマ）
座談会 3回
- 平成5年 アートポリスシンポジウム 1回
海彩館運営計画検討委員会
- 平成7年 住民参加によるフィッシャーマンズワーフの検討委員会

（以下、本文の重複部分）

黒部市国際文化センター

施設について

- 名称 黒部市国際文化センター
- 所在地 富山県黒部市三日市20番地
- 発注者 黒部市
- 設計者 基本設計、実施設計 : (株)新居千秋都市建築設計
音響コンサルティング : (株)永田音響設計
劇場コンサルティング : (株)シアターワークショップ
管理運営計画策定 : (財)日本建築センター
- 監理者 (株)新居千秋都市建築設計
- 施工者 (主体工事・電機設備・空調衛生・吊物・音響・照明・展示など)
排水路整備 : 朝倉建設(株)
敷地造成工事 : 中山工業(株)
建設工事
建築本体工事 : (株)フジタ北陸支店、桜井建設(株)、
(株)長谷川工務店共同企業体
電気設備工事 : 北陸電気工事(株)黒部営業所、(株)中西電気、
(有)米屋電気商会共同企業体
空調給排水衛生設備工事 : (株)朝日工業北陸営業所、
吉枝工業(株)、(有)大谷配管工業所共同企業体
舞台音響設備工事 : 不二音響(株)名古屋営業所
舞台照明設備工事 : 丸茂電気(株)名古屋営業所
舞台機構設備工事 : 森平舞台機構(株)
建設付帯工事
本体工事 : (株)フジタ北陸支店、桜井建設(株)、
(株)長谷川工務店共同企業体
給排水衛生設備工事 : (有)大谷配管工業所
さく井工事 : 吉枝工業(株)
電気設備工事 : YKKエンジニアリング
植栽工事 : 関吉万葉園、中坪造園
駐車場工事 : 共和土木(株)
- 設計期間 基本設計 : 1992年10月～1993年3月
実施設計 : 1993年3月～1994年3月
- 施工期間 排水路設備 : 1993年7月～1993年9月
敷地造成工事 : 1993年8月～1993年12月
建設本体工事 : 1994年3月～1995年9月
建設付帯工事 : 1994年9月～1995年10月
- 総工費 65.9億円

- 敷地面積 37,972m²
- 建築面積 6,736m²
- 延べ面積 8,886m²
- 構造・階数 本体：地下1階 地上4階
鉄筋コンクリート造 一部鉄骨鉄筋コンクリート造
能舞台：地上1階 鉄筋コンクリート造
その他：屋根／鉄骨造（劇場、能舞台客席）

●仕上げ（内装・屋根・外壁・外構など）

外部仕上げ

屋根：改質アスファルト露出断熱工法、カラーアルミ厚0.7、
ダンツキルーフ182

外壁：フッコーマイスタッコこて塗り押え、コンクリート打
ち放しフッ素樹脂塗装吹き付け

建具：アルミカーテンウォール・構造体スチールFB厚
28×150、鋼製建具ウレタンメタリック焼き付け

その他：建物金具、トップライトアクリル断熱防露、オペレーター

内部仕上げ

大ホール

床：チーク縁甲板厚15染色ウレタンCL

劇場椅子：ならウレタンCL、布地アスワン

壁：反射面→コンクリート小たたき

：吸収面→グラスウール厚50、有孔FGボード厚9φ

@15の上50角集成材厚100染色ウレタンCL

：反射吸音可動面→90φ集成材@200、電動カーテン

天井：LGS下地、FGボード厚8+FGボード厚6+PB厚12の上
クロス張りFP

展示室1,2

床：チーク縁甲板厚15染色ウレタンCL

壁：コンクリート打放し、可動展示パネル=W4240×
H4325合板厚9クロス張りFP、

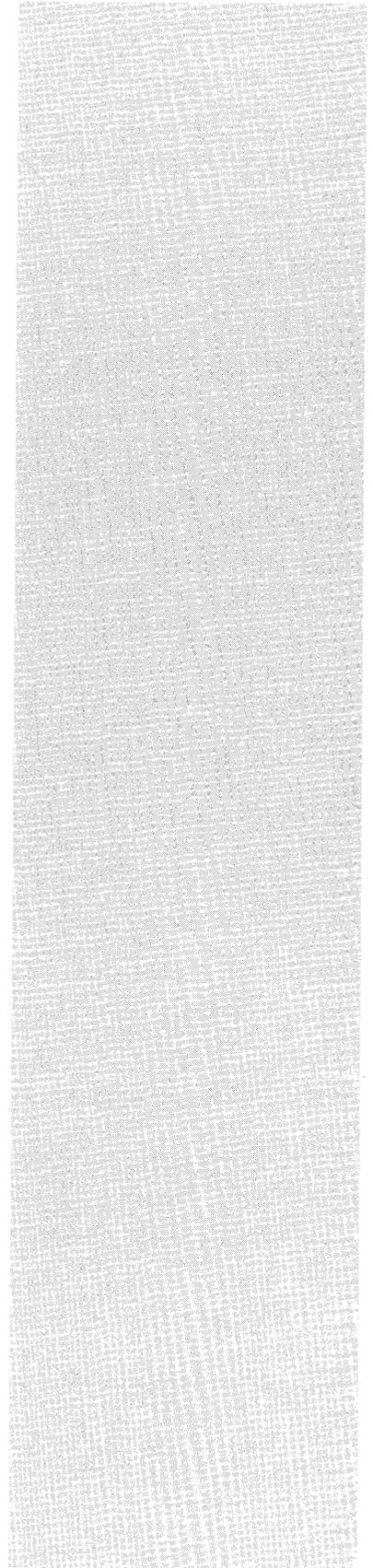
固定展示パネル=W4260×H8100合板厚24クロス張り
FP

天井：トップライト→コンクリートAEP、木製ルーバー、PB
厚9パテ処理AEP

マルチホール

床：チーク縁甲板厚15染色ウレタンCL

壁：コンクリート打放し、グラスウール厚50、有孔FGボ



ード厚8,9 有孔しな合板厚5.5,8 @20染色ウレタン
CL、250インチスクリーン・28インチモニターTV35台

天井 : グラスウール厚50敷き、有孔FGボード厚8,9
@15AEP

エントランスロビー外

床 : 大理石本磨きカリッツアカプリ

壁 : コンクリート打放し、スタッコこて塗り押さえ

天井 : PB厚9パテ処理AEP

造作家具: しな合板染色ウレタンCL

サイン、掲示ケース: DPGガラスの上シルク印刷

能舞台 (鉄筋コンクリート造)

舞台床 : スプルス厚40×幅420片面無地柁平

壁 : 桧本実厚15

天井 : スプルス本実厚15

電気設備

受電設備: 高圧受電3φ3W6000V

変圧器容量: 1600kw

予備電源 : ディーゼル発電機3φ3w4000v

空調設備

暖・冷房方式: 単一ダクト、AHU、FCU、マルチヒートポンプエアコン

熱源 : 特A重油

冷凍機 : 直焚吸水式冷凍機

衛生設備

給水 : 直結、加圧給水

給湯 : 局所式、中央式

排水 : 自然流下、ポンプアップ

消火 : 消火器、屋内消火栓、
スプリンクラー、移動式粉末消火器

排煙 : 自然排煙、機械排煙

昇降機等: 油圧エレベーター11人乗り45m/分 1基、
ダムウェーター1基

●都市計画用途指定・制限 地域地区指定なし

その他

●基本構想・基本計画の内容

21世紀に向け、地域の芸術、文化振興と国際社会に対応した国際交流盛んなまちづくりを目指すため、地域住民が世界の人々との交流や芸術文化を通じて国際理解を深め、国際感覚を高めることができる国際交流の中核施設として国際文化センター建設が計画された。

基本構想→リーディングプロジェクト「国際交流盛んなまちづくり」推進計画策定委員会の提言を基に作成した。

基本計画→基本構想を受けて市で作成した基本計画を基に、設計者に選定された(株)新居千秋都市建築設計が、計画の見直しをし、基本設計、実施設計に入り今日に至った。

●建設資金の出所 地域総合整備事業債、県まちづくり総合支援事業補助金、一般財源

●建築家の選定方法 選定委員会／プロポーサル

●運営主体 財団法人黒部市国際文化センター

●施設建設から運営までの住民参加について

「ハードの都市施設を立派に造ってみても、その運営に当たって地域社会の人々が自ら参加し、利用することがなければ、その施設が長く生き続けることはできない。」を基本として構想の段階から地域住民の意見や要望を取り入れながら、運営プログラムづくりなどのソフトと同時並行で建設を進めてきた。

- ・平成5年7月より国際文化センター設備運営企画会議を設置（市内のイベント企画経験者、音楽家、劇団員、舞踏家や劇場コンサル、設計者等専門家）
- ・平成6年6月より国際文化センター施設運営企画会議を発展的に解消し、そのメンバーを中心とした運営委員会を財団の中の組織として設置
- ・平成7年7月よりコラーレの芸術文化活動を支えるサポーターとして、また将来企画運営にまで参画できる人材育成を目的とした黒部文化倶楽部を設置
- ・平成8年11月3日よりコラーレ倶楽部として正式に組織化し、会員拡大を図る。

悠呂ふるさと会館

施設について

- 名称 複合文化施設「悠呂ふるさと会館」
- 所在地 島根県邑智郡川本町大字川本332番地15
- 発注者 邑智郡町村総合事務組合 管理者 小田泰敬
- 設計者 基本設計・実施設計：(株)新居千秋都市建築設計
音響コンサルティング：(株)永田音響設計
劇場コンサルティング：(株)シアターワークショップ
- 監理者 設計者に同じ
- 施工者 主体工事／大林組・今井産業特別共同企業体
電気設備工事／中電工・サンベ電気特別共同企業体
空調給排水衛生設備工事
大気社・山陽空調特別共同企業体
舞台機構設備工事 森平舞台機構(株)
舞台照明設備工事 丸茂電気(株)
舞台音響設備工事 不二音響(株)
- 設計期間 1994年7月から1995年3月
- 施工期間 1995年3月から1996年10月
- 総工費 3,273,704,984円
- 敷地面積 26,343 m²
- 建築面積 4,993 m²
- 延床面積 5,812 m²
- 構造・階数 鉄筋コンクリート 地上3階、地下1階
- 仕上げ(内装・屋根の外装・外構など)
 - 外部仕上げ
 - 屋根：S瓦特注色
 - 外壁：セメントスタッコこて押さえ
 - 建具：アルミサッシ、アルミカーテンウォール、鋼製建具、ステンレス製建具
 - 内部仕上げ
 - 大ホール
 - 床：コルクタイル、カーペットタイル厚8
 - 壁：セメントスタッコこて押さえ
 - 有孔FGボード厚8、a@15、FP塗装の上
 - 金色ラメスプレー吹き
 - 天井：LGS下地、FGボード厚8＋FGボード厚6
 - PB厚12、5クロス貼FP塗装の上金色ラメスプレー吹き
 - 木製リブ60×60、60×120、60×90 メタリック塗装

マルチホール

床：ユニットフロア下地チークフローリング厚15塗色ウレヨンCL

壁：腰壁：有孔LTS上合板厚5.5 木製リブ45角@159

上部：有孔FGボード厚8 a @15パテ処理AEP

天井：木コン処理の上AEP

エントランスロビー

床：大理石本磨きカリッアカプリ

壁：セメントスタッコこて押さえ

天井：木コン処理の上AEP トラス梁：ウレタンメタリック塗装

電気設備

受電設備 : 3 3W 6000V

変圧器容量：1 325KVA、3 500KVA、3 4w300KVA

予備電源 : ディーゼル発電機 300KVA

空調設備

暖冷房方式：単一ダクト、空冷ヒートポンプパッケージ

熱源 : 灯油焚吸収式、冷温水発生機（同時取り出し）

衛生設備

給水：加圧給水

浴湯：局所式

排水：室内合流方式

消火：消化器、室内消火栓 スプリンクラー

排煙：自然排煙、機械排煙

- 都市計画 第2種住居専用地域、第2種中高層住居専用地域
- 施設維持管理 邑智郡町村総合事務組合から川本町が管理委託を受ける
 - 空調設備については個別機器対応とした。
 大規模公演時の電力使用については臨時契約とした。

その他

- 基本構想・基本計画の内容
 昭和59年策定の「緑にこだます音楽の里計画」
 悠邑ふるさと会館建設企画書
- 建設資金の出所 地域総合整備事業債、指定寄付金、一般財源
- 建築家の選定方法 公開ヒヤリングにより最終決定
- 運営主体 邑智郡町村総合事務組合
- 運営者 川本町、文化会館応援団（一般募集）

